

2 新東いものキャンパス®～金属を溶かして”いもの“を作ろう！～

(1) 実施日時

2025年12月17日（水）午前10時50分から午後0時30分まで

(2) 実施校

大口町立大口西小学校（丹羽郡大口町余野 6-440）

(3) 講師

新東工業株式会社

(4) 講座内容

はじめに、講師から「鋳物(いもの)」についての説明がありました。日頃の生活で金属を溶かしたり型に流し込んだりすることは馴染みがないけれど、この工程はチョコレート作りと似ていて、材料は違っても溶かして型に入れて固めるという点では同じであると説明がありました。

今回のモノづくり体験で使う金属のこと、固まっている砂はほぐしてから使うこと、砂が固まるまで指で押さえることなど、いくつか注意点を説明してから体験が始まりました。

講師の皆さんが各机につき、サポートをしながら、児童は砂詰め作業を行いました。

講座の様子	体験の様子
	
体験の様子	

砂詰めが終わった児童から、樹脂の型をはずして、溶かした金属を出来上がった砂型に

流し込んでもらいました。高温の金属が5分程で固まりました。

最後にブラシで鋳物の表面についた砂を落とし、ストラップをつけたらレリーフが出来上がりました。

全員のレリーフが完成したところで講座に戻り、講師から「どの工程が楽しかった？」と問いかけると児童からは「砂を押し固めて、型をつくる場所」「金属が一瞬で溶けた場所」「ブラシで砂を落とす場所」など、次々と声が上がりました。

講座の最後には身の回りにある鋳物についての紹介（水道の蛇口、たこやきプレート、マンホールのふた、自動車のエンジンやタイヤのホイールなど）がありました。

今回の講座を通して、児童たちは鋳物が身の回りにたくさんあることを知り、モノづくりの楽しさや面白さを学べるよい機会となりました。